本県の労働生産性について

産業労働部

なぜ、労働生産性?

新秋田元気創造プランにおいて、労働生産性の向上等により賃金水準の向上を図ることとしており、 この点について、産業・雇用部会委員の皆様と認識を共有したい。

○労働生産性とは

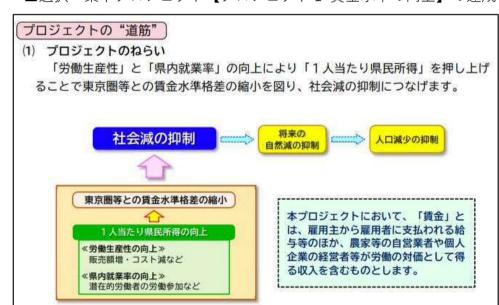
従業員1人当たりがどれだけの価値を生み出したかを指標化したもの。 企業が生産によって生み出した付加価値を従業員数で割って求めるもので、労働の 効率性を測る尺度になる。

【 労働生産性 = 県内総生産 ÷ 県内就業者数】

■選択・集中プロジェクト【プロジェクト1 賃金水準の向上】の達成の道筋



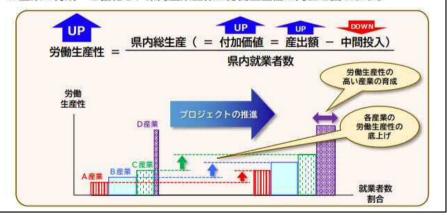
※引用:(株)ベネフィット・ワンHP



(2) プロジェクトの方向性

① 労働生産性の向上

産出額(財・サービスの販売額)の拡大と中間投入(コスト)の縮減による "各 産業の労働生産性の底上げ"を支援するとともに、成長産業など "労働生産性の高 い産業の育成"を強化し、県内産業全体の労働生産性の向上を図ります。



本県の労働生産性の状況

- ○労働生産性(2018年)の都道府県順位は、第38位。東北6県の順位では、第5位となっている。
- ○しかし、近年は、全国平均を上回るペースで向上している状況。

労働生産性の都道府県順位(2018年度)

		(千円)			(千円)	
順位	都道府県	2018年度 (H30年度)	順位	都道府県	2018年度 (H30年度)	
1	東京都	10,616	28	福岡県	7,869	
2	滋賀県	9,801	29	和歌山県	7, 781	
3	茨城県	9,760	30	新潟県	7, 737	
4	愛知県	9,679	31	長野県	7,689	
5	山口県	9,574	32	奈良県	7,652	
6	栃木県	9,374	33	埼玉県	7, 489	
7	三重県	9,276	34	山形県	7,430	
8	徳島県	8,826	35	愛媛県	7, 248	1
9	山梨県	8,786	36	岩手県	7, 214	1
10	群馬県	8, 774	37	佐賀県	7, 199	ŕ
11	兵庫県	8, 749	38	秋田県	7, 136	
12	静岡県	8, 728	39	鹿児島県	7, 045	
13	神奈川県	8, 674	40	長崎県	7,009	
14	富山県	8, 649	41	宮崎県	6,906	
15	京都府	8, 426	42	高知県	6,836	
16	千葉県	8, 311	43	青森県	6,780	
17	福井県	8, 287	44	島根県	6,764	
18	大分県	8, 274	45	鳥取県	6,631	
19	広島県	8, 262	46	熊本県	6,570	
20	北海道	8, 229	47	沖縄県	6, 371	
21	宮城県	8, 188	全国平均①(_	上記の加重平均)	8, 615	
22	福島県	8, 185	全国平均②([国民所得ベース)	7, 972	
23	岡山県	8, 114	7 3	京圏	9, 429	
24	香川県	8, 110	出典:内閣府	「県民経済計算」、	「国民経済計算」	

8,035

8,006

7, 981

【労働生産性】

県内総生産(名目)÷県内就業者数

25

26

27

大阪府

岐阜県

石川県

■対2009年度伸び率

秋 田 県:+16.0% 全国平均: +11.1%

秋田県の内訳

【産業別の労働生産性(主なもの)】 ※括弧内は就業者数割合

電気・ガス等 27,888 (1,2%) 16, 122 (1, 1%) 情報通信業 金融·保険業 12,854 (2.0%) 7, 125 (15.2%) 製造業 5,725 (9.3%) 建設業 保健衛生·社会事業 5,308 (15.1%) 卸売·小売業 4,773 (15.6%) 宿泊・飲食サービ、ス業 4,380 (4,8%) 農林水産業 2,544 (9.5%)

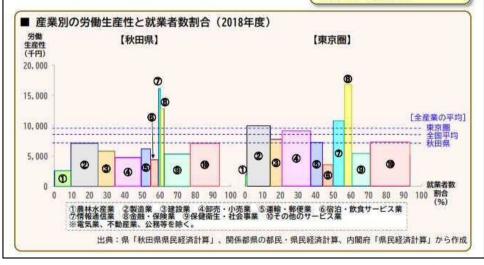
東京圏と比較すると、本県の各産業の労 働生産性は、全体的に低い水準にあるほ か、労働生産性の高い産業への就業者数 の割合も少ない。

本県の労働生産性

本県の労働生産性は、近年、全国平均を上回るペースで向上しているものの、いま だ全国低位に位置しており、東京圏を大きく下回っています。

また、産業別の労働生産性を見ると、本県の各産 業の労働生産性は、東京圏と比べ、全体的に低い水 準にあるほか、情報通信業など労働生産性の高い産 業への就業者数が相対的に少ない状況にあります。

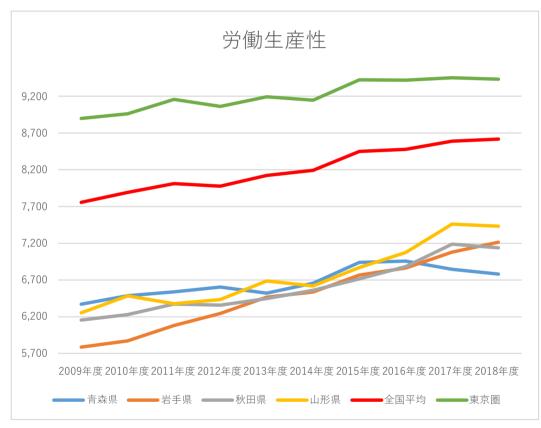
労働生産性 秋 田 県 7.136千円(全国38位) ※東京圏の76% 東京圏 9.429千円 全国平均 8.615千円

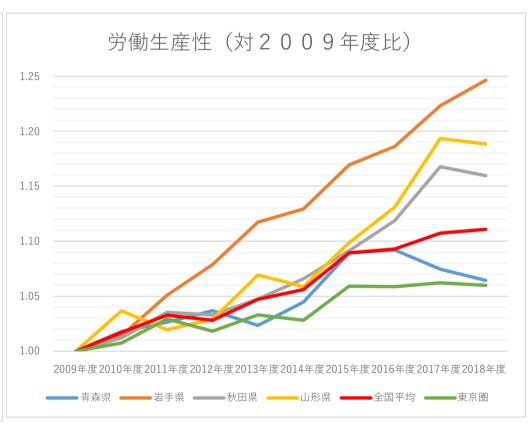


※新秋田元気創造プランから抜粋 (P24)

労働生産性の推移

対2009年比(右図)で見ると、岩手県、山形県が高い伸び率となっている。





出典:国民経済計算、県民経済計算

労働生産性の伸び率の内訳

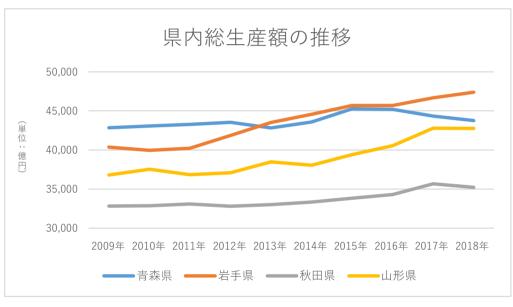
- ○労働生産性の高い岩手県、青森県は、分子(県内総生産)の伸び率も高い【増要因】
- ○秋田県は、分母(就業者数)の減少率が高い【増要因】
- ○全国平均では就業者数が増加している【減要因】

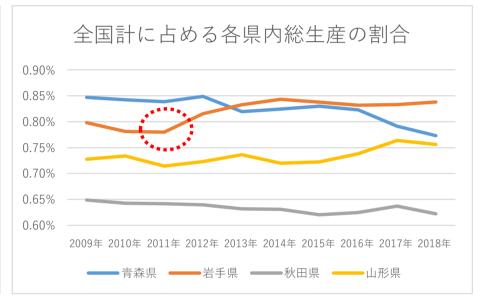
労働生産性の伸び率 (2009→2018年)

	労働生産性	分母 (就業者数)	分子 (県内総生産)
青森県	6.4%	△4.1%	2.1%
岩手県	24.6%	△5.8%	17.4%
秋田県	16.0%	△7.5%	7.3%
山形県	18.8%	△2.2%	16.2%
全国	11.1%	4.2%	11.8%

分子(県内総生産額)の状況

岩手県、山形県の伸び率が高く、秋田県、青森県の伸び率は低い





(単位:100万円)

			(— IT . 100/11/1/
•	県内総生産額	2009年	2018年	増減率 (2009→2018)
	岩手県	4,036,974	4,739,618	17.4%
	山形県	3,680,028	4,275,855	16.2%
	秋田県	3,282,004	3,520,558	7.3%
	青森県	4,284,804	4,374,419	2.1%

	伸び率 (2009→2018)
岩手県	0.04
山形県	0.03
秋田県	△ 0.03
青森県	△ 0.07

出典:県民経済計算

5

産業別県内総生産額の比較【額ベース】

岩手県の建設業、山形県の製造業の伸びが高い。



出典:県民経済計算

6

県内総生産の産業別増加額

○各県とも寄与度1位の産業の影響が非常に大きい(2位との差が大きい)。

○青森県1位:保健衛生·社会事業(50.6%)、秋田県1位:製造業(32.3%)、

岩手県1位:建設業(42.5%)、山形県1位:製造業(60.4%)

県内総生産の産業別増加額 (2009→2018年)

NO	県名	農林水産業	鉱業	製造業	電気・ガス・水道・	建設業	卸売・ 小売業	運輸・ 郵便業	宿泊・飲食 サービス業	情報通信業	金融・ 保険業	専門・科学 技術、業務	公務	教育	保健衛生・ 社会事業	その他の サービス	合計
	増加額	45,499	-80	-7,503	-22,956	-23,097	36,367	25,552	-8,150	14,197	-2,004	43,016	-8,779	-9,702	69,543	-14,482	137,422
青森県	寄与度	33.1%	-0.1%	-5.5%	-16.7%	-16.8%	26.5%	18.6%	-5.9%	10.3%	-1.5%	31.3%	-6.4%	-7.1%	50.6%	-10.5%	-
	順位	2	7	9	14	15	4	5	10	6	8	3	11	12	1	13	-
	増加額	13,068	1,654	73,876	25,636	28,544	19,220	9,997	13,138	-5,780	-9,605	39,007	-31,308	1,107	51,086	-854	228,786
秋田県	寄与度	5.7%	0.7%	32.3%	11.2%	12.5%	8.4%	4.4%	5.7%	-2.5%	-4.2%	17.0%	-13.7%	0.5%	22.3%	-0.4%	-
	順位	8	10	1	5	4	6	9	7	13	14	3	15	11	2	12	-
	増加額	14,798	4,883	175,788	-8,334	276,112	24,499	43,832	9,901	4,047	-4,801	27,780	17,185	3,374	64,801	-3,991	649,876
岩手県	寄与度	2.3%	0.8%	27.0%	-1.3%	42.5%	3.8%	6.7%	1.5%	0.6%	-0.7%	4.3%	2.6%	0.5%	10.0%	-0.6%	-
	順位	8	10	2	15	1	6	4	9	11	14	5	7	12	3	13	-
	増加額	45,034	523	372,909	36,800	63,570	32,359	6,948	5,049	577	-5,754	13,028	322	-1,376	59,682	-11,861	617,810
山形県	寄与度	7.3%	0.1%	60.4%	6.0%	10.3%	5.2%	1.1%	0.8%	0.1%	-0.9%	2.1%	0.1%	-0.2%	9.7%	-1.9%	-
	順位	4	11	1	5	2	6	8	9	10	14	7	12	13	3	15	-

出典:県民経済計算

県内総生産構成要素の増減率(対2009年)の各県比較

製造業において、山形県はコスト削減に成功し、設備投資(機械化)を積極的に進めているものと推測できるのではないか。

県内総生産の構成要素の増減率 (対2009年)

経済活動の種類	コスト割	合(中間投 <i>入</i> 2018/		の増減率	固定資産減耗の増減率 2018/2009				
	青森県	岩手県	秋田県	山形県	青森県	岩手県	秋田県	山形県	
製造業	14.8%	1. 2%	0.5%	-12.8%	0.1%	29.8%	27. 3%	68. 1%	
(1) 食料品	-5.3%	12.8%	2. 8%	-2.6%					
(2) 繊維製品	12.8%	32. 1%	-0.1%	-3.4%					
(3) パルプ・紙・紙加工品	-19.9%	-5. 5%	12.3%	-2.4%					
(4) 化学	-5.6%	-26.3%	6.8%	-10.8%					
(5) 石油・石炭製品	-3.9%	-6.4%	-3.9%	-18. 2%					
(6) 窯業・土石製品	-10.4%	-11.5%	4. 6%	-25.9%					
(7) 一次金属	65.0%	-10.7%	6. 7%	-4.3%					
(8) 金属製品	-15.1%	-11.7%	-9.3%	-0.5%					
(9) はん用・生産用・業務用機械	6. 2%	3. 1%	-13.5%	4.8%					
(10) 電子部品・デバイス	30. 7%	-12.1%	3. 5%	-12.5%					
(11)電気機械	1.4%	-9.0%	6. 5%	-3.8%					
(12)情報・通信機器	40. 7%	-27.5%	-29. 7%	-18.5%					
(13)輸送用機械	-2.0%	2.4%	45. 8%	-2.1%					
(14)印刷業	12.5%		-16. 2%						
(15) その他の製造業	-1.5%	3.0%	-5. 2%	-2.5%					
全業種の合計	8.3%	4. 9%	3.5%	-4.0%	-3.0%	7. 2%	0.0%	12.0%	

参考:県民経済計算の相互関連図

図1 県民経済計算相互関連図

